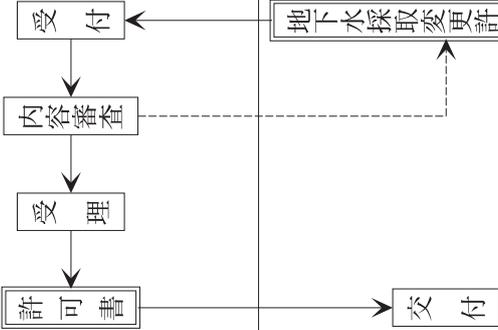
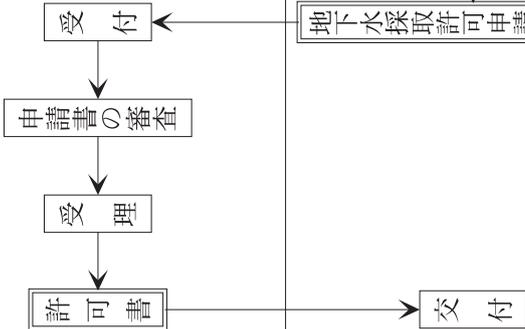
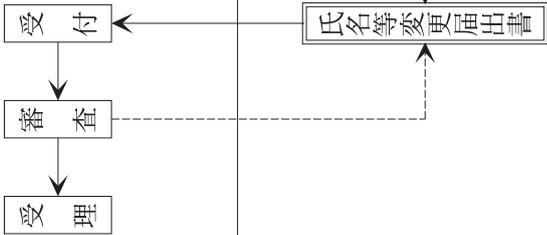


6 許可申請・届出等の手続

事務処理名称	県（知事）	申請者（採取者）	様式
<p>1 届出の場合 (条例第8条第2項)</p>			<p>様式第2号 様式第10号</p> <p style="text-align: right;">(P.29, 55) (P.38)</p>
<p>2 新規許可の場合 (条例第3条)</p>			<p>申請前の協議参照 様式第1号 様式第11号</p> <p style="text-align: right;">(P.44) (P.27, 55) (P.39)</p>

事務処理名称	県 (知事)	申請者 (採取者)	様式
<p>3 変更許可の場合 (条例第9条第1項)</p> <p>(1) 老朽化・破損等により既施設と同一敷地に新たに設置する場合</p> <p>(2) 前記(1)以外の場合</p>	<p>前記2新規許可の場合に同じ</p> 	<p>前記2新規許可の場合と同じとし、許可申請は変更許可申請書で申請のこと。</p> <p>地下水採取変更許可申請書</p> <p>交付</p>	<p>様式第3号 (P31)</p> <p>様式第3号 (P31)</p> <p>様式第11号 (P39)</p>
<p>4 許可期限の更新の場合 (条例第3条)</p>		<p>既許可の有効期限切れ</p> <p>地下水採取許可申請書(更新)</p> <p>交付</p>	<p>様式第1号 (P27, 55)</p> <p>様式第11号 (P39)</p>
<p>5 氏名等変更の場合 (条例第10条)</p>		<p>変更事項の発生</p> <p>(1) 氏名及び住所 (社名) (2) 地下水以外の水源(代替水)への転換の見通し (3) 揚水機の能力 (4) 地下水採取量の測定方法</p> <p>(30日以内)</p> <p>氏名等変更届出書</p>	<p>様式第4号 (P33)</p>

事務処理名称	県 (知事)	申請者 (採取者)	様式
<p>3 承継の場合 (条例第11条 第3項)</p>		<p>既許可施設の譲り受け (30日以内)</p> <p>承継届出書</p> <p>交付</p>	<p>様式第5号 (P34)</p> <p>様式第10号 (P38)</p>
<p>7 廃止の場合 (条例第12条)</p>		<p>廃止事項の発生</p> <p>(1) 揚水施設を廃止した場合 (2) 揚水機の吐出口断面積を基準断面積未満とした場合</p> <p>揚水施設廃止等届出書</p>	<p>様式第6号 (P35)</p>
<p>8 地下水採取量等 報告書 (条例第17条)</p>		<p>地下水採取量等記録表</p> <p>送付</p> <p>地下水採取量等報告書</p> <p>指導・勧告</p> <p>措置報告書作成</p>	<p>様式第7号 (P36)</p> <p>様式第8号 (P36)</p> <p>様式第9号 (P37)</p>

7 申請前の協議

1 地下水採取計画の提出

地下水の採取の申請をする前に、下記様式により計画内容を記載し、知事に提出し協議するものとする。

地下水採取計画書				
計画者住所氏名				地下水以外の水源への転換の見直し
揚水施設の設置場所				地下水採取量の測定方法
地下水の採取量	日量	㎥	季節により変動がある場合 月から 月まで 月から 月まで	協議内容
	年量	㎥		
ストレーナーの位置等 (ストレーナーが2以上あるときは、それぞれ記入する。)	位置(地表面下)	規格		
	口径	cm	長さ	m
	口径	㎥ (口径 mm)		
揚水機の吐出口の断面積 (吐出口が2以上あるときは、それぞれ記入する。)				
揚水機の能力等	定格出力	KW (HP)		
	最大吐出量	㎥/分 (㎥/日)		
	1日の運転時間	時間		
	揚程	m		
地下水の採取の目的				
地下水の採取の理由				
地下水の採取の時期				
				備考
				1. 揚水施設の設置の位置を示す図面を添付すること。

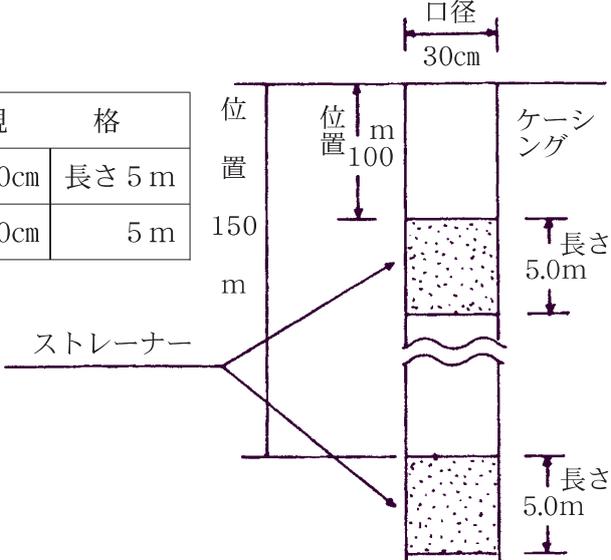
8 申請書等の記載要領

1 記載要領

(1) 様式第1号「地下水採取許可申請書」

様式第1号は、指定地域内に揚水施設を新設・更新（条例第3条）する場合に用います。

項 目	記 載 要 領
年 月 日	申請の年月日を記入してください。
申 請 者 住 所 氏 名	申請者の住所と氏名（法人等の団体にあつてはその名称と代表者の氏名）を記入して、押印してください。
揚水施設の設置の 場 所	揚水施設の所在地を記入してください。
※ 整 理 番 号	記入しないでください。
地下水の採取量	ア 日 量 1日の最大使用水量を立方メートルで記入してください。 イ 年 量 年間の使用水量を立方メートルで記入してください。 ウ 季節による変動がある場合 季節により大きく変動する場合は季節毎にその期間と期間毎に使用する水量をそれぞれ記入してください。
※ 受 理 年 月 日	記入しないでください。
※ 許 可 番 号	記入しないでください。
ストレーナーの 位 置 等	ア 位 置（地表面下） 地表面からストレーナーの上端部までの深さをメートルで記入してください。（m未満切上） イ 規 格 口径は揚水施設のケーシングの内径をセンチメートルで記入してください。（cm未満切捨） 長さについてはストレーナーを設置した長さをメートルで記入してください。（10cm未満切捨） なお、ストレーナーが2以上あるときは、それぞれ記入してください。 「ア」も同様です。

	<p>例</p> <table border="1" data-bbox="443 293 979 465"> <thead> <tr> <th>位置 (地表面下)</th> <th colspan="2">規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100m</td> <td>口径30cm</td> <td>長さ 5 m</td> </tr> <tr> <td>150m</td> <td>30cm</td> <td>5 m</td> </tr> </tbody> </table> 	位置 (地表面下)	規 格		100m	口径30cm	長さ 5 m	150m	30cm	5 m									
位置 (地表面下)	規 格																		
100m	口径30cm	長さ 5 m																	
150m	30cm	5 m																	
※ 許 可 年 月 日	記入しないでください。																		
揚水機の吐出口の断面図	<p>ポンプの吐出口の断面積を平方センチメートルで記入してください。吐出口が2以上あるときは、それぞれ記入してください。(小数第2位四捨五入)</p> <p>口径と断面積の関係は次表のとおりです。</p> <table border="1" data-bbox="443 1216 1401 1384"> <thead> <tr> <th>口径 (mm)</th> <th>50</th> <th>65</th> <th>80</th> <th>100</th> <th>125</th> <th>150</th> <th>200</th> <th>250</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>断面積 (cm²)</th> <td>19.6</td> <td>33.2</td> <td>50.2</td> <td>78.5</td> <td>122.7</td> <td>176.6</td> <td>314.0</td> <td>490.6</td> </tr> </tbody> </table>	口径 (mm)	50	65	80	100	125	150	200	250	断面積 (cm ²)	19.6	33.2	50.2	78.5	122.7	176.6	314.0	490.6
口径 (mm)	50	65	80	100	125	150	200	250											
断面積 (cm ²)	19.6	33.2	50.2	78.5	122.7	176.6	314.0	490.6											
揚水機の能力等	<p>ア 定格出力 モーター (発動機) の定格出力をKWか, HPで記入してください。(小数第1位未満切捨)</p> <p>イ 最大吐出量 ポンプの最大吐出量をm³/分 (小数第2位未満切捨), 又はm³/日 (m³未満切捨) で記入してください。</p> <p>ウ 1日の運転時間 1日の最大運転時間を記入してください。(時間未満切捨)</p> <p>エ 揚程 ポンプの全揚程を記入してください。(m未満は切上)</p>																		
地下水の採取の目的	農業用水, 工業用水, 生活用水, その他用水のいずれかを記入し, それぞれ使用目的を記入してください。																		

地下水の採取の理由	地下水でなければならない理由を記入してください。 例 ① 他の水源に頼るのが困難である。 ② 他の水源では水質的に合わない。
地下水の採取の時期	地下水を実際使用する時期を記入してください。
地下水以外の水源への転換の見通し	用水事業等が計画または実施されている場合は事業所名及び事業主体名等を記入してください。
地下水採水量の測定方法	該当する番号を○印で囲んでください。
添付書類	<p>1 揚水施設の設置の場所を示す図面 国土地理院発行の5万分の1（又は2万5千分の1）の地形図，又は市町村で発行している管内図に揚水施設の設置場所を赤印で表示してください。 近隣に判明している既設井のあるときは青印で記入してください。</p> <p>2 揚水施設の構造図 構造概略図の記載は揚水機の位置（揚水管から地表面までの距離），自然水位及び運転水位の位置（地表面からの距離），及び揚水機の種類等を記入してください。</p> <p>3 揚水施設を設置する場所の地質柱状図 ア 井戸掘削の地層，深度及び層名を記入してください。 イ ケーシング管の状況を記入してください。（ストレーナーの位置記入） ウ 電気検層の比抵抗曲線を記入してください。</p> <p>4 揚水試験の結果を記載した書面 5 代替水への転換見通しを証する書面 6 その他</p> <p>※添付書類の作成要領（P55～）を参考にしてください。</p>

(2) 様式第2号「地下水採取届出書」

様式第2号は、指定地域内で既に揚水施設により採取している者（条例第8条第2項）が届出するとき用います。

項 目	記 載 要 領
年 月 日	届出の年月日を記入してください。
届 出 者 住 所 氏 名	届出者の住所と氏名（法人等の団体にあつてはその名称と代表者の氏名）を記入して押印してください。
揚水施設の設置の場所	様式第1号と同様です。
※ 整 理 番 号	記入しないでください。
地 下 水 の 採 取 量	様式第1号と同様です。
※ 受 理 年 月 日	記入しないでください。
※ 受 理 番 号	”
※受理書交付年月日	”
ストレーナーの位置等	様式第1号と同様です。
揚水機の吐出口の断面積	”
揚 水 機 の 能 力 等	”
地下水の採取の目的	”
地下水の採取の理由	”
地下水の採取の時期	”
地下水採取の測定方法	”
添 付 書 類	”

(3) 様式第3号「地下水採取変更許可申請書」

様式第3号は、指定地域内で既に揚水施設により採取している者又は新規許可を得た者（以下「採取者」という。）が条例第4条第1項第2号から第7号までに掲げる事項を変更しようとする時に許可申請に用います。

項 目	記 載 要 領
年 月 日	申請の年月日を記入してください。
申 請 者 住 所 氏 名	様式第1号と同様です。
許 可 又 は 受 理 番 号	許可書又は受理書の番号と交付年月日を記入してください。 例 年 月 日 指令第 号（許可施設の場合） 年 月 日 第 号（届出施設の場合）

変 更 理 由	主な変更理由を記入してください。(別紙で記入してもよい。)
※ 整 理 番 号	記入しないでください。
※ 受 理 年 月 日	”
※ 許 可 番 号	”
※ 許 可 年 月 日	”
揚水施設の設置の場所	様式第1号と同様ですが変更前と変更後を記入してください。
地 下 水 の 採 取 量	” ”
ストレーナーの位置等	” ”
揚水機の吐出口の断面積	” ”
揚 水 機 の 能 力 等	” ”
地下水の採取の目的	” ”
地下水の採取の時期	” ”
地下水採取量の測定方法	変更前と変更後を記入してください。
添 付 書 類	様式第1号と同様です。

(4) 様式第4号「氏名等変更届出書」

様式第4号は、採取者が氏名等を変更(条例第10条)した時の届出に用います。

項 目	記 載 要 領
年 月 日	届出の年月日を記入してください。
届 出 者 住 所 氏 名	様式第2号と同様です。
許 可 又 は 受 理 番 号	様式第3号と同様です。
※ 整 理 番 号	記入しないでください。
※ 受 理 年 月 日	”
変 更 事 項	該当する番号を○で囲んでください。
変 更 の 内 容	変更前と変更後を記入してください。
変 更 の 理 由	変更の理由を記入してください。

(5) 様式第5号「承継届出書」

様式第5号は、採取者の地位を承継（条例第11条第3項）したときの届出に用います。

項 目	記 載 要 領
年 月 日	届出の年月日を記入してください。
届 出 者 住 所 氏 名	様式第2号と同様です。
許 可 又 は 受 理 番 号	様式第3号と同様です。
揚水施設の設置の場所	様式第1号と同様です。
※ 整 理 番 号	記入しないでください。
※ 受 理 年 月 日	”
承 継 年 月 日	承継した年月日を記入してください。
被 承 継 者	ア 氏 名 承継前の許可者の氏名（法人等の団体の場合は名称及び代表者の氏名）を記入してください。 イ 住 所 承継前の許可者の住所（事業所等の所在地）を記入してください。
承 継 の 理 由	承継された理由を記入してください。 例 ○ 相続による承継 ○ 譲り受けによる承継

※ 譲渡契約書等の写しを添付してください。

(6) 様式第6号「揚水施設廃止等届出書」

様式第6号は、採取者が地下水の採取を廃止又は基準未満の断面積にした（条例第12条）ときの届出に用います。

項 目	記 載 要 領
年 月 日	届出の年月日を記入してください。
届 出 者 住 所 氏 名	様式第2号と同様です。
許 可 又 は 受 理 番 号	様式第3号と同様です。
揚水施設の設置の場所	様式第1号と同様です。
※ 整 理 番 号	記入しないでください。
※ 受 理 年 月 日	”
廃 止 等 の 年 月 日	廃止又は基準断面積未満とした年月日を記入してください。
廃 止 等 の 理 由	廃止又は基準断面積未満とした理由を記入してください。

※ 廃止状況写真等を添付してください。

(7) 様式第7号「地下水採取量等記録表」

様式第7号は、採取者が水量計により採取量を計量している場合に記録し保管しておくものです。

項 目	記 載 要 領
採 用 日 数 (日)	月毎に地下水を採取した日数及び1年間の採取日数を計欄に記入してください。
月 間 採 取 量 (m^3)	月毎に地下水を採取した量及び1年間の採取量を計欄に立方メートルで記入してください。（ m^3 未満切捨）
1 日 平 均 採 取 量 (m^3)	月間採取量を月間採取日数で除して月毎に立方メートルで記入してください。（ m^3 未満切捨）
1 日 平 均 運 転 時 間 (時間)	月間運転時間を月間採取日数で除して月毎に記入してください。（時間未満切上）

(8) 様式第8号「地下水採取量等記録表」

様式第8号は採取者が水量計が設置されていない場合に記録し、保管しておくものです。

項 目	記 載 要 領
採 取 日 数 (日)	様式第7号と同様です。
月 間 採 取 量	月毎に地下水を採取した量及び1年間の採取量を計欄に立方メートルで記入してください。(m ³ 未満切捨) 水量の算定は別紙地下水採取量の測定方法を参考にしてください。 (P54)
1日平均採取量 (m ³)	様式第7号と同様です。
1日平均運転時間 (時間)	”
吐 出 口 の 断 面 積	様式第1号と同様です。
揚 水 機 の 能 力	”

(9) 様式第9号「地下水採取量等報告書」

様式第9号は、採取者から採取量等を報告する（条例第17条）ときに用います。

項 目	記 載 要 領
年 月 日	報告する年月日を記入してください。
報 告 者 住 所 氏 名	報告者の住所氏名（法人等の団体にあつてはその名称と代表者の氏名）を記入して押印してください。
整 理 番 号	県で記入
許 可 区 分	県で記入 許可区分1は許可施設を表示する。 許可区分2は届出施設を表示する。
デ ー タ 区 分	記入しないでください。
採 取 日 数（日）	月毎に地下水を採取した日数を記入してください。
月 間 採 取 量（m ³ ）	月毎に地下水を採取した量を記入してください。（m ³ 未満切捨）
1 日 平 均 運 転 時 間 （hr）	月間運転時間を月間採取日数で除して、月毎に記入してください。 （時間未満は全て切上げ整数で記入）例6.3→7
水 位 観 測（観 測 日）	許可区分1の場合のみ記入 例 5日→5 水位観測を実施した観測日を記入 15日→15
”（自然水位）	許可区分1の場合のみ記入 ポンプを運転する前の観測水位を記入（小数第2位四捨五入）
”（運転水位）	許可区分1の場合のみ記入 ポンプを運転中の観測水位を記入（小数第2位四捨五入）

(別紙)

1 地下水採取量の測定方法

- (1) 水量測定器が設置されている場合は水量測定器の数値により計算してください。
- (2) 水量測定器が設置されていない場合は、揚水機の吐出量 (m³/分) により計算してください。

また、吐出量が不明の時は、下表の標準吐出量 (m³/分) を用いて計算してください。

口径	断面積	標準吐出量	時間当たり吐出量	備 考
直径 50mm	19.6cm ²	0.20m ³ /分	12.0m ³ /時	水中モーターポンプ50HZ, 3000rpm
直径 65mm	33.2	0.30	18.0	
直径 80mm	50.2	0.55	33.0	
直径100mm	78.5	0.90	54.0	
直径125mm	122.7	1.60	96.0	
直径150mm	176.6	2.50	150.0	
直径200mm	314.0	4.00	240.0	
直径250mm	490.6	5.50	330.0	

- (3) 上記(2)の場合は、必ずポンプ運転日誌をつけ運転時間の記入をすること。
- (4) 計算例 (ポンプ吐出口径直径100mm, 月間採取日数30日, 月間ポンプ運転時間540時間)

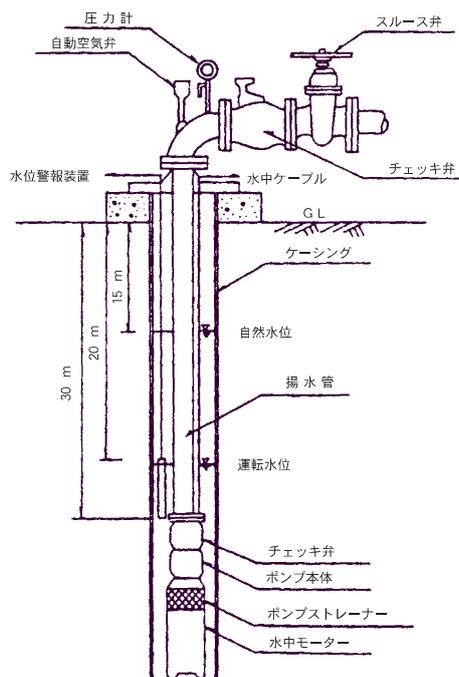
※ 月間採取日数 30日

※ 月間採取量 表より 54.0m³/時×540時間=29,160m³

※ 1日平均運転時間 540時間÷30日=18時間

2 水位観測方法 (許可区分1の場合)

水位観測は3回/月(10日ごと)とし、自然水位(ポンプ停止時)、運転水位(ポンプ運転時)について、地盤からの下りで測定してください。



9 添付書類の作成要領

様式第1号, 2号添付書類

(1) 揚水施設の設置の 場所を示す図面 …… P 56

国土地理院発行の5万分の1（又は2万5千分の1）の地形図，又は市町村で発行している管内図に揚水施設の設置の場所を赤印で表示してください。

近隣に判明している既設井のあるときは青印で記入してください。

※ 既設井は，1 km以内のものとする。

(2) 揚水施設の 構造図 …… P 57

構造概略図の記載は揚水機の位置（揚水管から地表面までの距離），自然水位及び運転水位の位置（地表面からの距離），及び揚水機の種類等を記入してください。

※ 別添図でも可。

(3) 揚水施設を設置する場所の 地質柱状図 …… P 58

ア 井戸掘削の地層，深度及び層名を記入してください。

イ ケーシング管の状況を記入してください。（ストレーナーの位置記入）

ウ 電気検層の比抵抗曲線を記入してください。

(4) 揚水試験 の結果を記載した書面（新規申請のみ）…… P 59～64

段階揚水試験，連続揚水試験，回復試験及び影響試験の記録を提出してください。

※ 段階試験は，できれば限界揚水量まで実施してください。

※ 試験方法は別添資料を参照してください。…… P 84～87

(5) 代替水及び合理化への転換を証する書面

(6) 事業計画等認可書の写し及び地下水採取年次計画一覧

(7) 既設井に対する同意書

(8) 許可期間内における揚水量及び地下水位測定結果表（許可期限更新の場合に添付）

※ 別添様式による。…… P 65

(9) その他許可にあたって必要と認める書類（更新前，許可書写し等）

上記のうち，許可期限更新の場合は，(1)(2)(5)(6)(8)(9)について添付する。

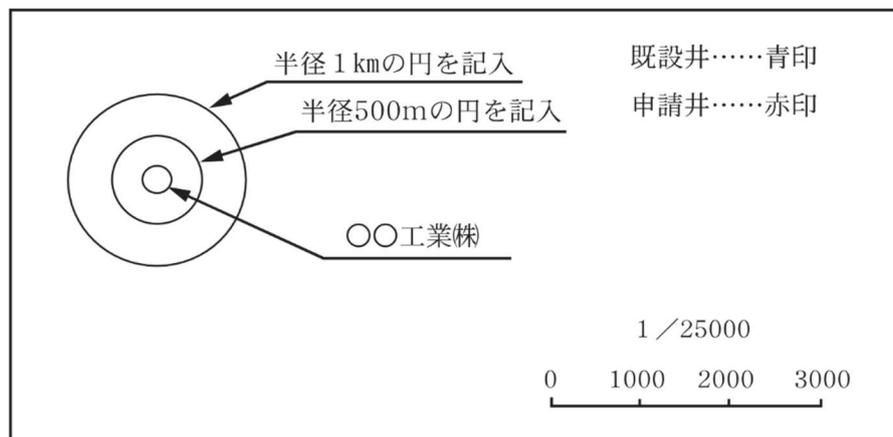
※ 提出部数は一部とする。

添付書類の作成要領

条例第4条第2項に基づく添付書類は、次のとおりです。

- (1) 揚水施設の設置の場所を示す図面

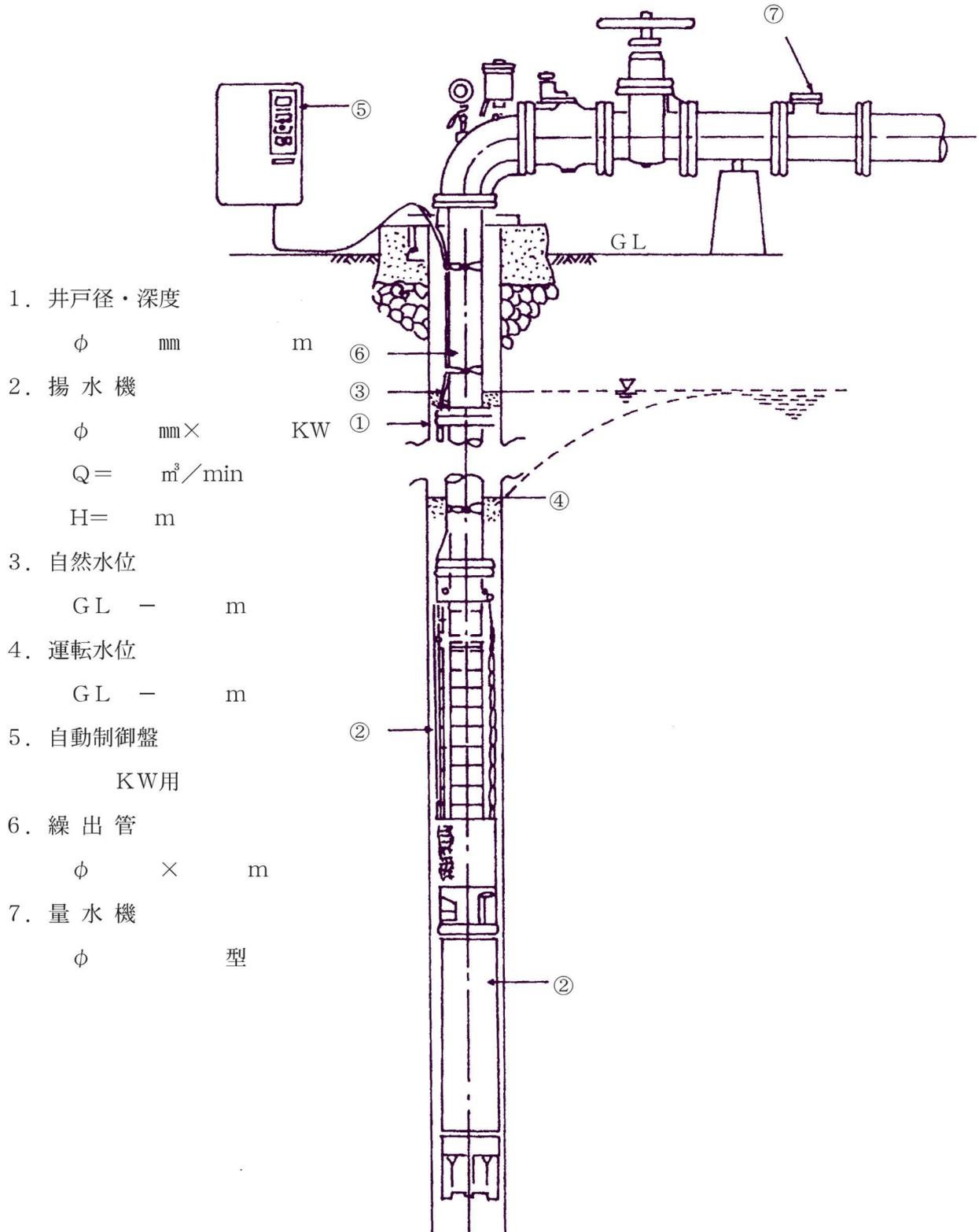
位 置 図



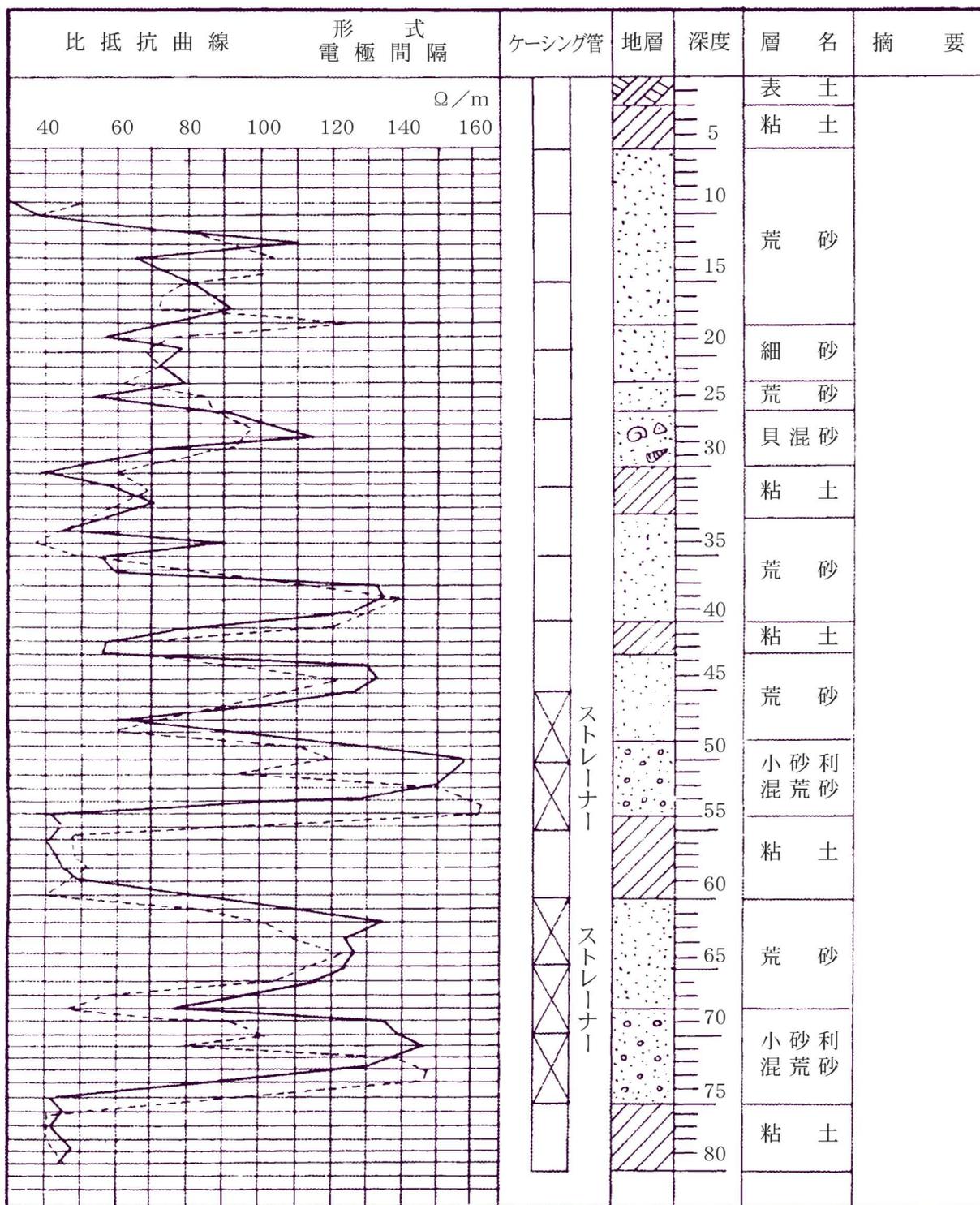
国土地理院発行の2万5千分の1（又は5万分の1）

又は市町村で発行している管内図

揚水施設の構造図



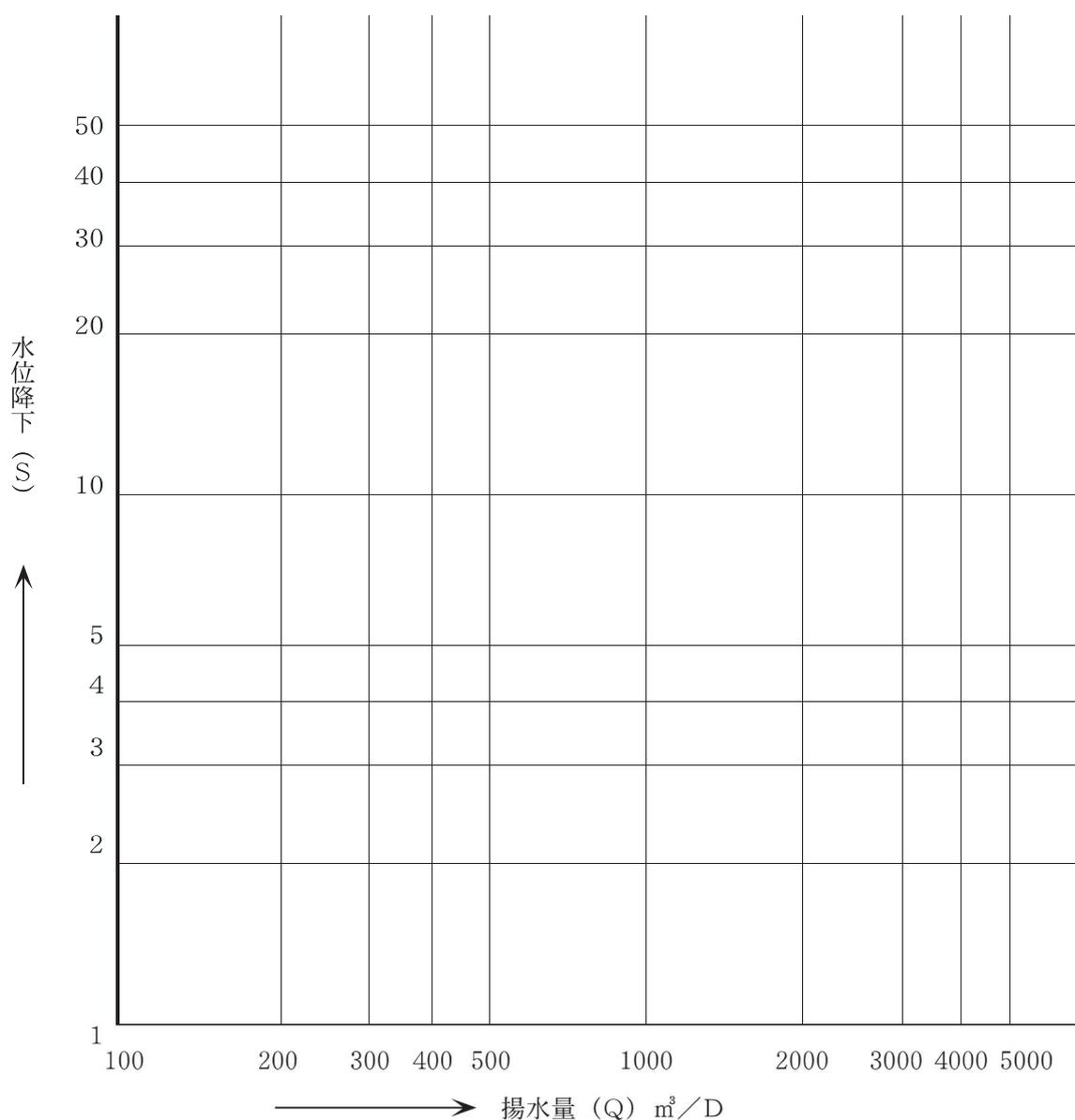
(3) 揚水施設を設置する場所の地質柱状図



(4) 揚水試験の結果を記載した書面

- ① 静水位の確認及び帯水層の状況を把握するために、段階揚水試験曲線図（表1）、（表4）、揚水試験測定記録（表2）を提出してください。
- ② 連続揚水試験、影響試験及び回復試験を行った場合は、 $S - t / t'$ グラフ（表3）、揚水試験測定記録表（表2）、（表6）を提出してください。

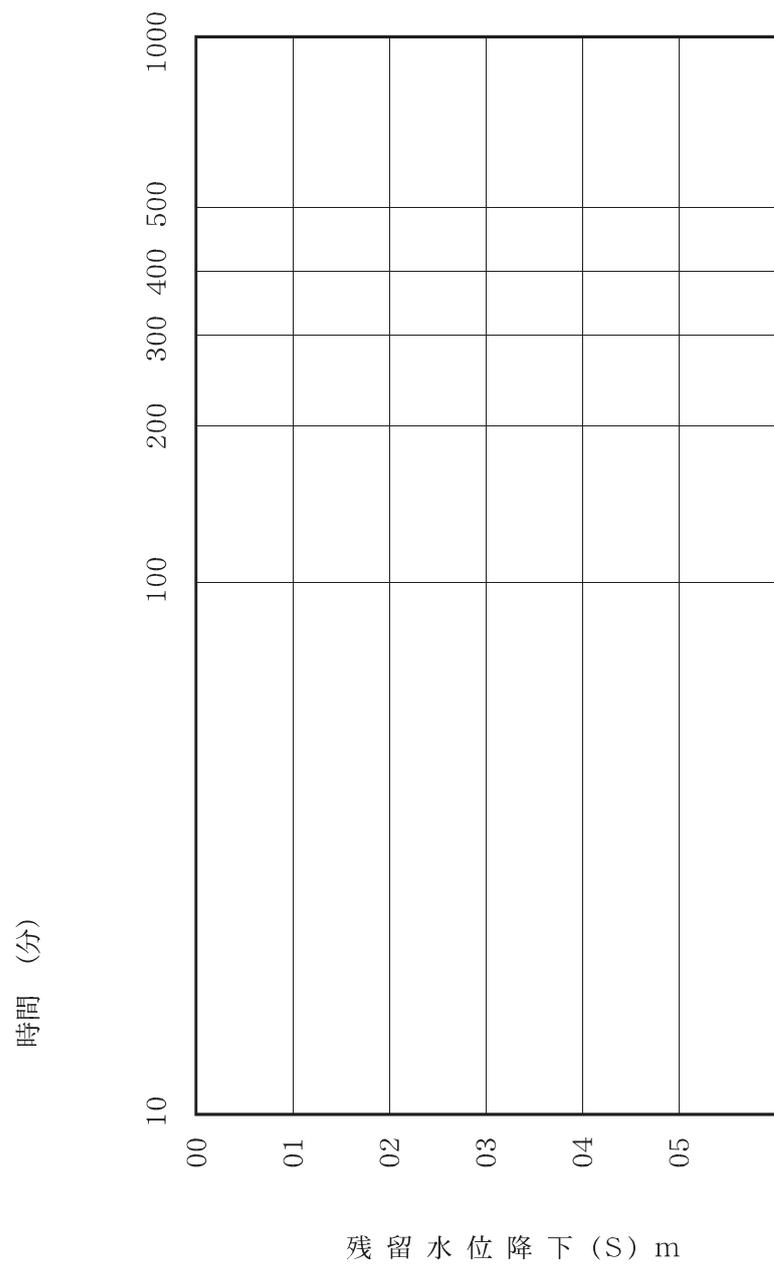
(表1) 段階揚水試験曲線図



備考 段階降下試験及び段階上昇試験を行い、二つの試験結果を対数座標にプロットする。

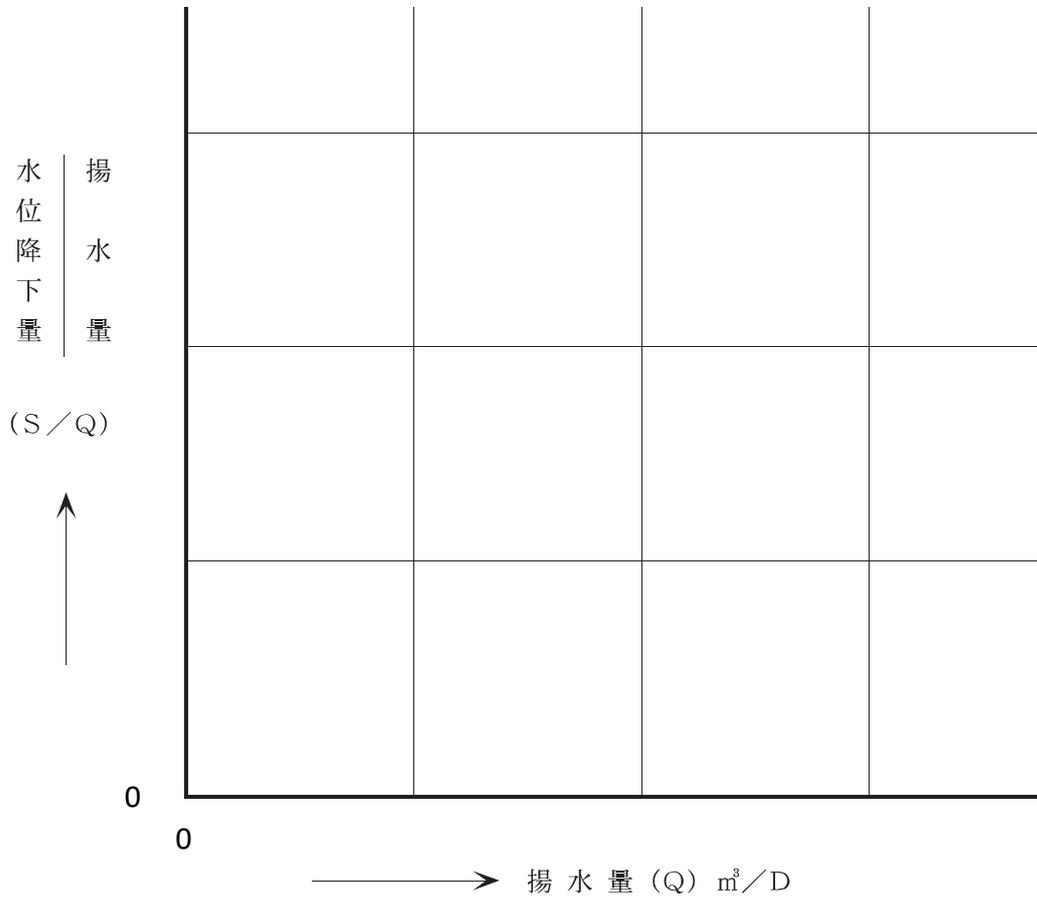
(表3)

s - t / t' グラフ



(表4)

段階揚水試験 $S/Q - Q$ 曲線図



(表 5)

削除

揚水量及び水位調査票

※更新許可申請添付

申請者		許可日量		m^3		吐出口 断面積		cm^2		深度		m		施設の場所																							
施設名		許可年量		m^3																																	
項目	年	年 合計												年 合計												年 合計											
	月	m^3												m^3												m^3											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実	月間採取量 (m^3)																																				
	採取日数 (日)																																				
	1日平均採取量 (m^3)																																				
	1日平均運転時間 (hr)																																				
績	水位	自然水位 GL-m																																			
		運転水位 GL-m																																			
	地盤高(TPm)																																				
地下水 水位測定結果 (GL-m)	-5m																																				
	-10m																																				
	-15m																																				
	-20m																																				
	-25m																																				
日平均 採取量 (m^3 /日)	m^3 /日																																				
	2,000																																				
	1,500																																				
	1,000																																				
	500																																				

＜本票作成にあたっての注意事項＞

1. 本票は、更新許可申請の場合に過去3年間の揚水実績、水位変動状況について記入すること。
2. 提出時はA3版で作成すること。
3. 「実績：水位」欄は、各月計測3回の平均値を記入すること。
4. グラフを記入する際、目盛りは適宜修正して作成すること。
5. 「地下水水位測定結果」欄は、自然水位と運転水位の2つのグラフを記入すること。
6. 複数の施設を合算で許可されている場合は、採取量は合算した数値を1枚にまとめて記入すること。その際、日数と運転時間は平均値を、水位はいずれか一つを記入すること。

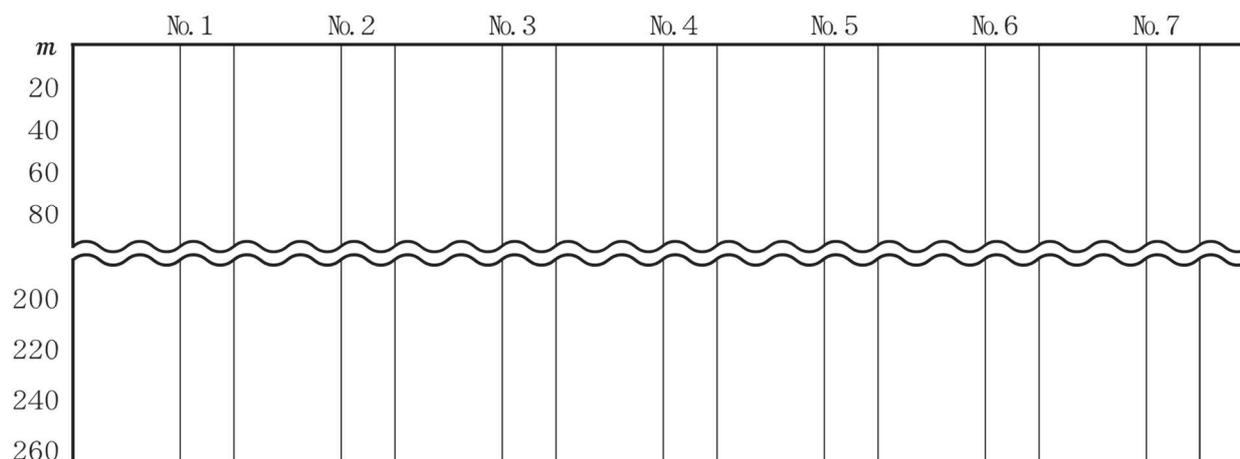
地下水採取計画書添付資料

(1) 既設井調査表（別紙様式その1）

配置図 対象番号	揚水施設名	地盤高 (TP)	井戸		揚水機 口径	ストレーナ ーの位置	自然水位	運転水位	揚水量	備考
			深度	口径						
No. 1		m	m	mm	mm	m	m	m	m/D	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

(注) 地下水採取計画位置周辺の既設井であって、申請井よりおおむね半径1km以内、揚水機（ポンプ）の吐出口の口径が50mm以上、及び井戸深度30m以上のものを全て記入すること。

地質柱状図（別紙様式その2）



(2) 地下水採取の全体計画概要図

(注) 事業の概要及び地下水採取量の算出根拠を記載のこと。

(3) 電気探査結果表

(4) 井戸設置工程表

(注) 井戸の掘削から給水の開始までの各作業工程を記入すること。

(5) 揚水施設の設置の場所を示す図面

(注) 国土地理院発行又は市町村管内図の25,000分の1の地形図に、申請井及び既設井の位置を表示すること。

(6) その他の参考資料

(注) その他、地下水の採取計画をたてるうえでの参考となる資料

例) 地下水以外の水源への転換の見通しを証する書類